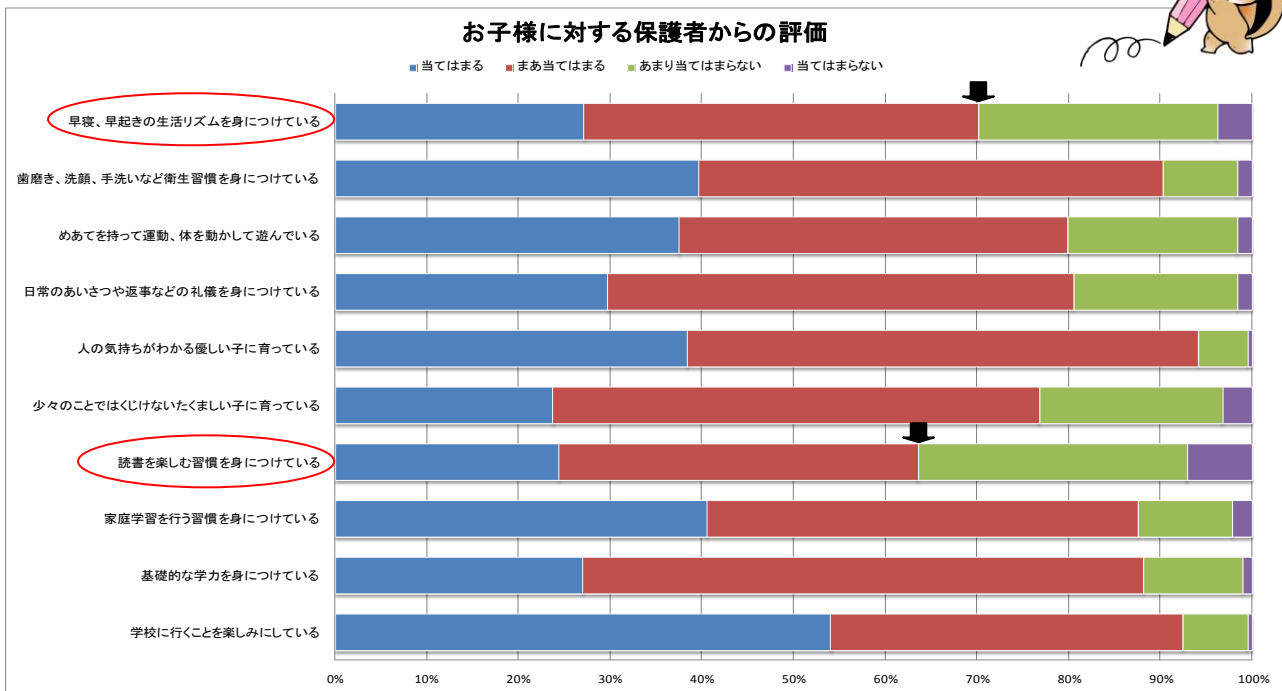


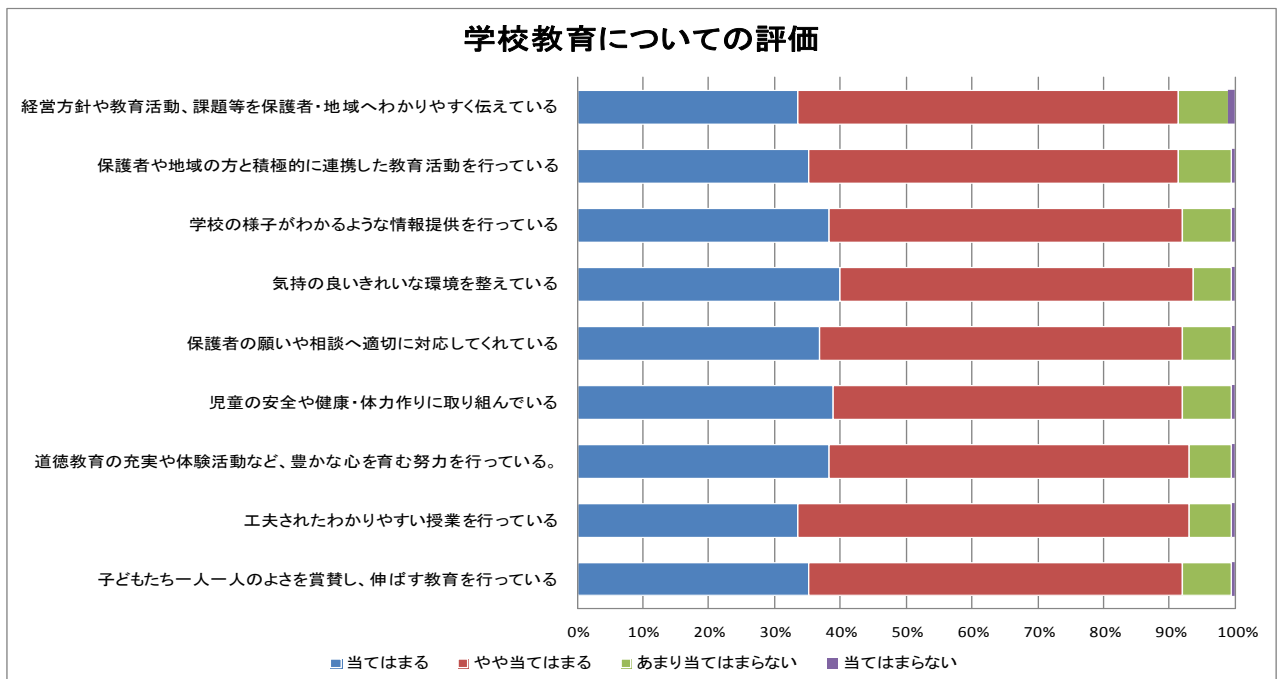
## 児童健全育成アンケートから

今年度の児童健全育成アンケートの結果の概要がまとまりましたのでお知らせします。（学校からの回答等詳細については昨年度同様冊子の形で2月中旬に配布いたします。）

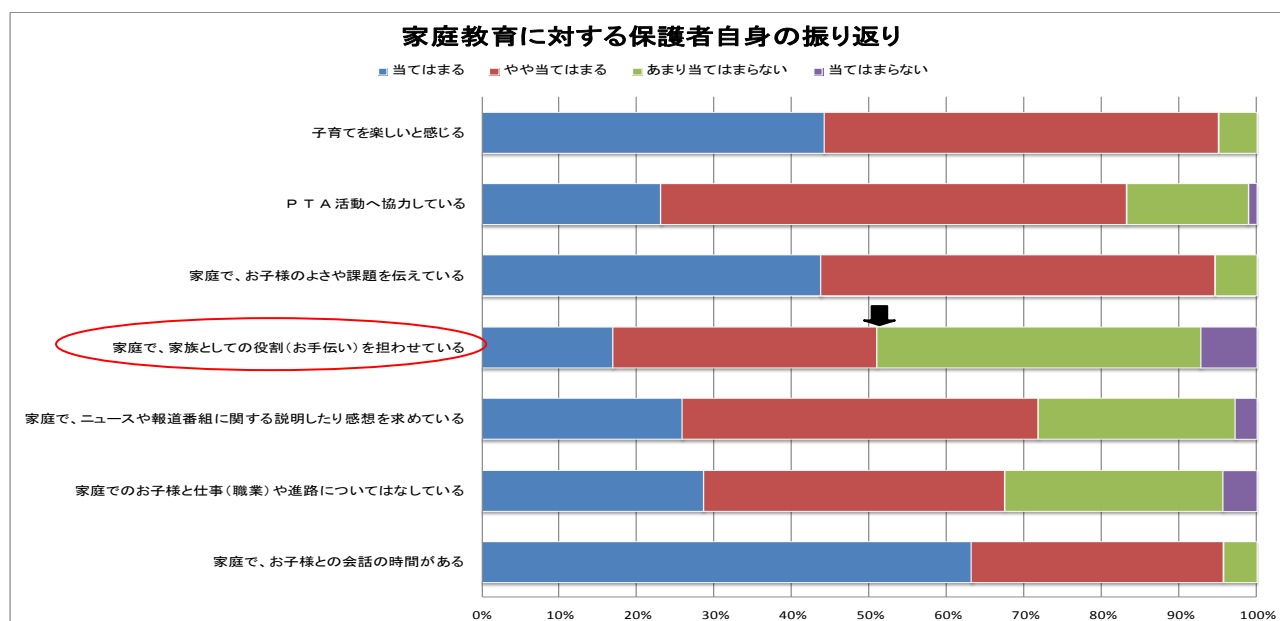
### 1 お子様の様子について



### 2 学校の教育活動について



### 3 家庭教育について



#### 前年度比±3%以上の変化があった項目

##### 1 お子様について

＜昨年度に比べよかった項目＞

歯磨き、洗顔、手洗いなど衛生習慣を身につけている。（+8%）

＜昨年度に比べ下がった項目＞

読書を楽しむ習慣を身につけている。（-6%）



##### 2 学校運営について

＜昨年度に比べよかった項目＞

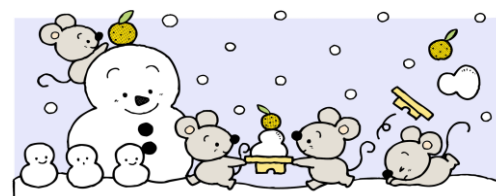
保護者の願いや相談に適切に対応してくれている。（+3%）

経営方針や教育活動、課題等を保護者・地域の方々にわかりやすく伝えている。（+4%）

保護者や地域の方と積極的に連携した教育活動を行っている。（+4%）

＜昨年度に比べ下がった項目＞

気持ちの良いきれいな環境を整えている。（-4%）



##### 3 家庭教育について

＜昨年度に比べよかった項目＞

ありませんでした。

＜昨年度に比べ下がった項目＞

家庭で、お子様と仕事（職業）や進路について話すことがある。（-3%）

#### 全体を通じて気になったこと

1 お手伝いについてはA、Bあわせても昨年度 53%今年度 51%で、昨年度も今年度も全質問項目を通じてもっとも低い評価でした。長時間テレビやゲーム、インターネット等メディアにふれている実態があることを考えると、お手伝いをできない理由は時間のせいだけではないと思われます。

2 読書の習慣についても、お手伝いについて昨年度も今年度も全質問項目を通じて2番目に低い評価でした。A、B合わせて昨年度は 70%、今年度は 64%です。

3 生活リズムについては、A、B合わせて昨年度は 72%、今年度 70%で全質問項目を通じて4番目に低い評価でした。（3番目は進路等についての親子の会話）

気になったこと1～3とPTA広報委員会、保体委員会のメディアに関する調査を重ね合わせたときに平均的な平田小学校の児童の姿はどのようなものでしょうか？大人が期待している姿とは違ったものになっていると思います。なるように任せては子どもを変えることはできません。学校・家庭で課題を共有しながら、連携して健全な子どもの生活に変えていきましょう。